

SICF23 MARKET 部門 グランプリアーティスト展

Leo Koda 「In Fill Out」

会期：2023年5月2日（火） - 5月7日（日） 11:00 - 20:00

会場：エントランス（スパイラル 1F）

海外を拠点に活躍するプロダクトデザイナー・Leo Koda の
日本初発表の作品を含む展示を開催



Leo Koda
《In Fill Out | ROUND TRAY》 出展作品
150x45mm、PLA / rPLA
*「rPLA」はリサイクルした PLA です。

スパイラルは、昨年5月に開催したアートフェスティバル「SICF23（第23回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル）」の生活を豊かに彩る作品の展示販売を行なう MARKET 部門においてグランプリを受賞した Leo Koda の日本初発表の作品を含む展示「In Fill Out」をエントランス（スパイラル 1F）にて開催します。

Leo Koda は 2022 年にスイスのローザンヌ美術大学（ECAL）を卒業し、現在、ヨーロッパでプロダクトデザイナーとして活動しています。

3Dプリントが「未来のクラフト」たり得るかという問いから生まれた《In Fill Out》は、出力された厚み6mmのシートをお湯で茹でることによって膨らませ、形をデザインするプロジェクトです。ハイテクノロジーとされる3Dプリントと、ローテクノロジーである「茹でる」という行為を組み合わせるユニークな発想、そして3Dプリント独自のインフィルという内部の構造に着目し、新たな造形を生み出したオリジナリティが評価され、グランプリを受賞しました。

本展のアイテムは、サステナブルな未来への関心から、農産物などのデンプンから抽出される生分解性プラスチック（PLA）の使用など、環境にも配慮されて制作されています。本展では、Leo Koda が1年かけて製作した《In Fill Out》のアイテムが一堂に会する初の機会となります。なおグランプリアーティスト展の会期中には、4名の受賞者による展示も同時開催します。ぜひご取材・ご掲載の検討の程、よろしくお願いいたします。

■ご掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

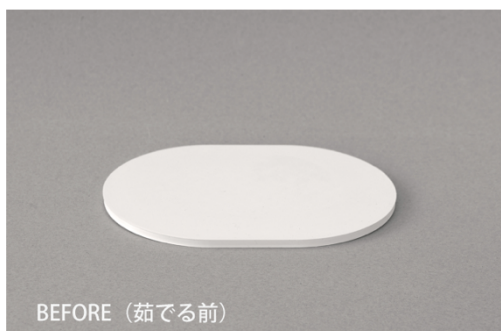
スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報 ソフィー・ルキャンヌ

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp URL: <http://www.spiral.co.jp/>

SICF SPIRAL INDEPENDENT CREATORS FESTIVAL spiral®

《In Fill Out》の Before/After

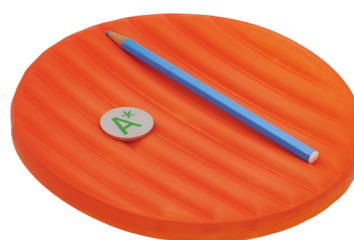


※ 茹でることによって内部の空気が膨張し、表面に模様が浮かび上がります。
詳細（制作プロセスの動画）：<https://vimeo.com/user112864287>

出展作品（一部）



Leo Koda
《In Fill Out | BOAT》
175x125x30mm、PLA / rPLA



Leo Koda
《In Fill Out | ORGANIZER》使用イメージ
180x170x20mm、PLA / rPLA

過去作品



Leo Koda 《In Fill Out》 SICF23 MARKET 部門 グランプリ受賞作品
Photo: TADA (YUKAI)



SICF23 審査員コメント

■ 林口砂里

一般社団法人富山県西部観光社 水と匠 プロデューサー

3Dプリンターで造形された樹脂を「茹でる」という発想に、まずはとても驚かされました。その背景には、新しいテクノロジーが「未来の工芸」たり得るのか、というLeoさんの深い考察と真摯な態度がありました。同時にユーザーに訴えかけるPOPなデザインやプレゼンテーションも工夫されており、今後の可能性を非常に感じました。

■ 西村直子

スパイラル 販売部 商品課長 統括バイヤー

個人的に一番評価した点はバランス感覚でした。作品の素材や色、フォント、ブースはもちろん、使い手との関係性、生産方法などに関して、本人の思いと、今のものづくりに求められていることを考え抜く力の釣り合いが取れていて、とても将来性を感じました。作家本人が不在でも「伝える」仕組みもよく考えられており、今後SICFに参加する作家の方にもよいお手本になったのではと思います。今後どんな活動をされるのか、スパイラルでの展示も大変楽しみです。

プロフィール

Leo Koda



Photo : Go Minami

1997年生まれ。2020年武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科インテリアデザイン専攻卒業後、留学。2022年スイスのローザンヌ美術大学 (ECAL) プロダクトデザイン専攻卒業。現在、オランダのアイントホーフェンにデザインスタジオを構える。

2018年山際照明造形美術振興会奨学生。主な展覧会に、「Rossana Orlandi exhibition」(2022、M7/ドーハ、カタール)、「supersalone | Salone del Mobile 『The Lost Graduation Show』」(2021、Rho Fiera/ミラノ、イタリア) など。

HP : www.leokoda.com

Instagram : [@leo_kooda](https://www.instagram.com/leo_kooda)

開催概要

SICF23 MARKET 部門 グランプリアーティスト展 Leo Koda 「In Fill Out」

会期：2023 年 5 月 2 日（火） - 5 月 7 日（日） 11:00 – 20:00

会場：エントランス（スパイラル 1F） 東京都港区南青山 5-6-23

URL：www.spiral.co.jp/topics/entrance/SICF23_MARKET_winnersexhibition

入場無料

お問い合わせ：03-3498-4015（エントランス直通）

主催：株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

グラフィックデザイン：WALTZ. LLC

*営業時間は変更する場合がございます。また、入場制限を行なう場合がございます。詳細および最新情報は、スパイラルウェブ（www.spiral.co.jp）をご確認ください。

【同時開催】SICF23 MARKET 部門 受賞者展

グランプリアーティスト展と同時開催で SICF23 MARKET 部門の 4 名の受賞者が作り出す魅力あふれる作品／プロダクトを展示販売します。

参加アーティスト：ASAZU HITOMI（川渕恵理子賞）、ninnpin nibi（鈴木マサル賞）、石橋陽子（林口砂里賞）、藤原未遊（オーディエンス賞）

出展者一覧

ASAZU HITOMI 川渕恵理子賞



私は主に京都の伝統工芸品である金銀糸と彫金を組み合わせた作品を中心に制作している。私はジュエリーを人と人、また自身とのコミュニケーションツールとして考えている。実用性だけでなく芸術性を重視したジュエリーの制作を心掛けている。—— ASAZU HITOMI

1990 年 三重県生まれ

大阪デザイナー専門学校 卒業

コンテンポラリージュエリー作家。京都・寺島保太良商店のオリジナルブランド“絲”の外部デザイナーとしても活動している。

2022 年 「SICF23」 MARKET 部門（スパイラルガーデン／東京） 川渕恵理子賞

2021 年 「やりとりする境界面」（Art Gallery ESPACE 446／大阪）

2020 年 個展「JUBILEE」（The Terminal KYOTO／京都）

2016 年 委託販売（MARK'S STYLE TOKYO Paris Le Marais／パリ、フランス）

2016 年 「New Jewelry NEXT」（CLASKA／東京）

2015 年 「大阪デザイナー専門学校グループ展」（大阪高島屋／大阪）

2014 年 大阪デザイナー専門学校卒業制作 学科賞

ninnpin nibi 鈴木マサル賞



「きょう一日を生きている、えらすぎる人類におくるプレゼント。」をコンセプトに 1 年間の時の経過を、二十四節気になぞらえて、テキスタイルを制作している。なかなか思うようにいかない人生のなかで、自分がきめた決断や考えを、迷いながらも肯定する気持ちを忘れないでいてほしいな、というメッセージを込めている。—— ninnpin nibi

2018 年 Jyderup Højskole 卒業（ジデルupp、デンマーク）

2019 年 skals - højskolen for design og håndarbejde 卒業（スカルス、デンマーク）

欧州滞在中は 30 カ国以上の美術館やアートスタジオなどを訪ねる。

2022 年 東京藝術大学 美術学部デザイン科 卒業

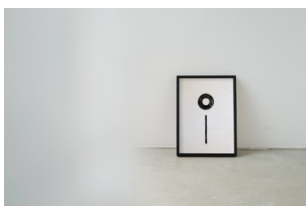
2022 年 「SICF23」 MARKET 部門（スパイラルガーデン／東京） 鈴木マサル賞

2022 年 「第 70 回東京藝術大学卒業・修了作品展」（東京藝術大学／東京）

2019 年 skals - højskolen for design og håndarbejde 卒業制作展（スカルス、デンマーク）

2018 年 Jyderup Højskole 卒業制作展（ジデルupp、デンマーク）

石橋陽子 | Yoko Ishibashi 林口砂里賞



手法にこだわらず、図形・点・線のフォルムを使いミニマルに表現している。言葉が世界を表現しているように、図形も世界を表現している。とても身近な物から遠い宇宙、目に見えない心までも。世界共通の認識があり、誰しもの使える図形を自分というフィルターを通し、言葉を紡ぐように心地のよいバランスを探しながら、新しい形へ変換し、見る側の想像力の喚起へと繋いでいる。—— 石橋陽子

1999 年より製作活動を開始。民俗学に興味を持ちプリミティブな作品を制作。
2013 年より図形の持つ深遠さに魅了され現在に至る。

2022 年 「SICF23」 MARKET 部門（スパイラルガーデン／東京） 林口砂里賞

藤原末遊 | Miyu Fujiwara オーディエンス賞



板ガラスを積層した時の透明感に魅力を感じている。熱した時のガラスの流れや、光に照らされた時の影の表現を活かした作品を制作している。
—— 藤原末遊

2000 年 愛知県生まれ
2023 年 女子美術大学 デザイン工芸学科ガラス専攻卒業
2023 年 武蔵野美術大学大学院 造形研究科デザイン専攻工芸工業
デザインコース在籍

2022 年 「SICF23」 MARKET 部門（スパイラルガーデン／東京） オーディエンス賞
2022 年 「ISETAN 呉服×女子美 2022」（伊勢丹新宿店／東京）

開催概要

SICF23 MARKET 部門 受賞者展

会期：2023 年 5 月 2 日（火） - 5 月 7 日（日） 11:00 - 20:00

会場：エントランス（スパイラル 1F）東京都港区南青山 5-6-23

入場無料